

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	み・らいずプレイスすみのえ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 18日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 18日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども、保護者のへのかかわり方が丁寧であること。主体性の育成、対人関係構築、社会参加に向けた支援を重視しています。	子どもたちとの会話や距離感の取り方等を事前事後ミーティングで細部まで配慮しながらきめこまやかに共有しています。	職員が日常の療育の中でアセスメントを意識しています。より職員間の研修等の情報共有が進む工夫を行います。
2	毎回の事前MTと振り返りにより、その日の支援内容や子どもの状況に合わせた支援をチームで行っています。	前回支援時の留意事項を必ず引き継いで、事前MTで全スタッフに周知し対応や担当を決めています。	プログラム内容の検討時に、図をつかって視覚的にもわかりやすくすることで職員の配置をより効果的にできる。
3	学校や他機関との連携を行っています。	各機関での子どもの状況を共有、方針や役割分担の検討をしています。	学校等に対して定期的な子どもの状況報告の機会をつくり、より子どもの状況の変化を細かく伝えられるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との個別相談援助は行っていますが、保護者向けの研修機会の情報共有が少なかったです。	長時間×個別支援コースとコミュニケーション特化コースの二つの内容を行っており、それぞれの保護者さまの研修ニーズを確認できていませんでした。	保護者会やペアレントトレーニングなど研修の周知を定期的に行います。
2	災害時、緊急時のマニュアル、BCP、についての保護者へのわかりやすい説明が不足していました。	保護者にわかりやすく伝えるツールの工夫が不足していること、保護者によっては面談の機会が不足していました。	計画更新時にわかりやすい資料を工夫し、災害時の集合場所を安全確認シートで確認します。
3	療育空間について、長時間×個別支援コースとコミュニケーション特化コースの二つの内容を行っており、それぞれのコース以外で使わない掲示物等がある状態になっています。また遊び道具の整理棚は内容が豊富な反面、希望のものを探しにくくなっています。	整理棚に視覚支援として物の片付けの場所を提示していませんでした。	視覚的にわかりやすい棚の整理を行います。必要物品について見直します。

公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 み・らいずプレイスすみのえ

公表日 2026年3月6日

利用児童

数 31

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかづやく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア アプリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	8	6	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	13	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	11	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	12	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	11	3	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	11	3	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	12	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	12	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。	6	6	2	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	12	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	13	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	9	3	2	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていま すか。	11	2	2	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	5	7	2	0			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	4	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	9	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	9	1	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	5	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	7	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2	0	0		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		み・らいずプレイスすみのえ		公表日		2026年3月6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児童の年齢幅が広い為、適切な距離をとることができるものの配置やスペースの確保を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童利用時には2名の配置と、社会福祉士など専門性を持った職員を配置しています。	子どもの活動内容によっては互いに声をかけあいながら動きます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	スケジュールやカレンダーの掲示など、視覚支援や構造化を行っています。	事故予防の対策の強化（段階のほりおり）をします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回掃除を行い清潔を保っています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要時はロールスクリーンをひいて空間を分けるなどカムダウンできる環境を作っています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		児童受入前、退所後のミーティングや週1回の運営会議を通して改善点等検討しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート結果を職員全員で共有し改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の課題について話し合い、改善方法について検討しました		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		評価を受けてはいないが、運営面や支援の質の向上など外部からの助言を受けながら運営しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所連絡会、協議会（子ども部会）への参加および事業所内での研修を実施しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページでプログラムを公表しています。また支援指針をデイサービス内に掲示しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		法人独自のアセスメントシートを活用しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもたちへの聞き取りを行い、それも参考に定期的な運営会議の中で立案・決定しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		運営会議で事前にならぬ計画を周知し、当日のプログラム実施前にスタッフで動態を確認し計画に沿った支援を提供しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化したゴールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じて本人、保護者、学校など関係する方からも聞き取りながらこどもの状況を知るようにしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って本人支援、家族支援、移行支援、地域支援連携それぞれの支援内容をアセスメントをもとに検討し、五領域がもれなく支援できるよう目標や支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムのねらいを運営会議で議論し、企画書をチームで立案検討しています		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラム実施後には振り返りを行い、改善に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	○		個別の時間と集団の時間を支援目標に合わせて利用できるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	○		開所日には必ず情報共有や役割分担等の時 間を設けています（30分程度）。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		開所日には必ず児童退所後に振り返りを行 っています（1時間程度）。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	○		毎日記録を作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画を半年ごとに見直していま す。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		ガイドラインを参照し支援を組み立ててい ます。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどもがきめるを支援指針のひとつにして います。決めるまでの意思決定支援を行っ ています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援担当者が会議へ参画しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	○		学校行政を含め関係機関と連携する体制を 整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	○		学校行事等は保護者から共有していただく ことが多いです。日々の活動の様子やトラ ブルについては学校と電話などで直接やり 取りを行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		新一年生など直近に通っておられた場所へ （了解を得た上で）必要に応じて情報共有 を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	○		事業所を選ぶ段階から（了承を得たうえ で）必要に応じて情報共有を行っていま す。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		事業所連絡会にて助言や研修を受けていま す。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	○		地域の子ども食堂や民間の学童等との交流 を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		事業所連絡会や自立支援協議会の子ども部 会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話、面談等を通して学校や家庭 での様子の聞き取り、プレイスでの様子の 共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		プレイス内で変化が見られた支援など共有 するなどしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	○		契約時に読み合わせを行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こども、家族それぞれとの面談をして、振 り返りや意向の確認を行い計画に反映して います	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画について説明し、質問がないか確認させていただいたうえで同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や電話、面談等を通して学校や家庭での様子の聞き取っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		保護者も含めた交流会を実施しました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった場合にはすぐに上長に報告し、対応を検討、改善に努めている。	個人が分からないように周知する方法を検討します
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		予定表の作成、周知等を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		プライバシーポリシーに則って個人情報の扱いに留意した事業運営をしています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特定によって伝え方（視覚支援など）を変えるなどの工夫を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域お祭りに出店するなどイベントに参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員へ周知を行っています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しています。年2回の防災訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		安全確認シートに記載いただき、緊急連絡先と一緒に状況確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要な場合にはあらかじめ支援計画に記載しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年2回の避難訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		重要事項説明書に記載して説明しています。	安全計画の周知用書面をつくり保護者にお渡しします
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こったその日に振り返りを行い、共有できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止等の研修を行い理解を深め、適切な対応ができる体制をつくっています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		重要事項説明書に記載して説明しています。		

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	み・らいずプレイスすみのえ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 18日		～ 2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 18日		～ 2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども、保護者のへのかかわり方が丁寧であること。主体性の育成、対人関係構築、社会参加に向けた支援を重視しています。	子どもたちとの会話や距離感の取り方等を事前事後ミーティングで細部まで配慮しながらきめこまやかに共有しています。	職員が日常の療育の中でアセスメントを意識しています。より職員間の研修等の情報共有が進む工夫を行います。
2	毎回の事前MTと振り返りにより、その日の支援内容や子どもの状況に合わせた支援をチームで行っています。	前回支援時の留意事項を必ず引き継いで、事前MTで全スタッフに周知し対応や担当を決めています。	プログラム内容の検討時に、図をつかって視覚的にもわかりやすくすることで職員の配置をより効果的にできる。
3	学校や他機関との連携を行っています。	各機関での子どもの状況を共有、方針や役割分担の検討をしています。	学校等に対して定期的な子どもの状況報告の機会をつくり、より子どもの状況の変化を細かく伝えられるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との個別相談援助は行っていますが、保護者向けの研修機会の情報共有が少なかったです。	長時間×個別支援コースとコミュニケーション特化コースの二つの内容を行っており、それぞれの保護者さまの研修ニーズを確認できていませんでした。	保護者会やペアレントトレーニングなど研修の周知を定期的に行います。
2	災害時、緊急時のマニュアル、BCP、についての保護者へのわかりやすい説明が不足していました。	保護者にわかりやすく伝わるツールの工夫が不足していること、保護者によっては面談の機会が不足していました。	計画更新時にわかりやすい資料を工夫し、災害時の集合場所を安全確認シートで確認します。
3	療育空間について、長時間×個別支援コースとコミュニケーション特化コースの二つの内容を行っており、それぞれのコース以外で使わない掲示物等がある状態になっています。また遊び道具の整理棚は内容が豊富な反面、希望のものを探しにくくなっています。	整理棚に視覚支援として物の片付けの場所を提示していませんでした。	視覚的にわかりやすい棚の整理を行います。必要物品について見直します。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 み・らいずプレイスすみのえ

公表日 2026年3月6日

利用児童数 31

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	6	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	3	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	3	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	6	2	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	2	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	2	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	2	0		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	0	0		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	4	0	0			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	9	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	9	1	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	5	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	7	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2	0	0		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		み・らいずプレイスすみのえ		公表日		R8 年 3 月 6 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児童の年齢幅が広いので、適切な距離をとることができるものの配置やスペースの確保を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童利用時には2名の配置と、社会福祉士など専門性を持った職員を配置しています。	子どもの活動内容によっては互いに声をかけあいながら動きます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	スケジュールやカレンダーの掲示など、視覚支援や構造化を行っています。	事故予防の対策の強化（階段のぼりおり）をします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回掃除を行い清潔を保っています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要時はロールスクリーンをひいて空間を分けるなどカムダウンできる環境を作っています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		児童受入前、退所後のミーティングや週1回の運営会議を通して改善点等検討しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート結果を職員全員で共有し改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の課題について話し合い、改善方法について検討しました		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		評価を受けてはいませんが、運営面や支援の質の向上など外部からの助言を受けながら運営しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所連絡会、協議会（子ども部会）への参加および事業所内での研修を実施しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページでプログラムを公表しています。また支援指針をサービス内に掲示しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		法人独自のアセスメントシートを活用しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもたちへの聞き取りを行い、それも参考に定期的な運営会議の中で立案・決定しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		運営会議で事前にねらいや計画を周知し、当日のプログラム実施前にスタッフで動態を確認し計画に沿った支援を提供しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じて本人、保護者、学校など関係の方からも聞き取りながらこどもの状況を知るようにしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って本人支援、家族支援、移行支援、地域支援連携それぞれの支援内容をアセスメントをもとに検討し、五領域がもれなく支援できるよう目標や支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムのねらいを運営会議で議論し、企画書をチームで立案検討しています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラム実施後には振り返りを行い、改善に努めています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の時間と集団の時間を支援目標に合わせて利用できるようにしています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		開所日には必ず情報共有や役割分担等の時間を設けています（30分程度）。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		開所日には必ず児童退所後に振り返りを行っています（1時間程度）。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録を作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画を半年ごとに見直しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		ガイドラインを参照し支援を組み立てています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		こどもがきめる支援指針のひとつにしています。決めるまでの意思決定支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援担当者が会議へ参画しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校行政を含め関係機関と連携する体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○		学校行事等は保護者から共有してもらうことが多いです。日々の活動の様子やトラブルについては	新一年生など直近に選ばれた場所へ（了解を得た上で）必要に応じて情報共有を行っています。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		事業所を選ぶ段階から（了承を得たうえで）必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		事業所連絡会にて助言や研修を受けています。	
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		地域の子ども食堂や民間の学童等との交流を行っています。	事業所連絡会や自立支援協議会の子ども部会に参加しています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		送迎時や電話、面談等を通して学校や家庭での様子の聞き取り、プレイスでの様子の共有を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		プレイス内で変化が見られた支援など共有するなどしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		契約時に読み合わせを行っています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		こども、家族それぞれとの面談をして、振り返りや意向の確認を行い計画に反映しています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画について説明し、質問がないか確認させていただいたうえで同意を得ています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		送迎時や電話、面談等を通して学校や家庭での様子の聞き取っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者も含めた交流会を実施しました。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・苦情があった場合にはすぐに上長に報告し、対応を検討、改善に努めている。	個人が分からないように周知する方法を検討します
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		予定表の作成、周知等を行っています。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		プライバシーポリシーに則って個人情報の扱いに留意した事業運営をしています		

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		特定によって伝え方（視覚支援など）を変えるなどの工夫を行っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	地域お祭りに出店するなどイベントに参加しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		マニュアルを策定し、職員へ周知を行っています	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		BCPを作成しています。年2回の防災訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		安全確認シートに記載いただき、緊急連絡先と一緒に状況確認をしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		必要な場合にはあらかじめ支援計画に記載しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		年2回の避難訓練を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	重要事項説明書に記載して説明しています。	安全計画の周知用書面をつくり保護者にお渡しします
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ヒヤリハットが起こったその日に振り返りを行い、共有できるようにしています。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		虐待防止等の研修を行い理解を深め、適切な対応ができる体制をつくっています		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		重要事項説明書に記載して説明しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。					